

日本とブラジルが連携した ブラジル劣化牧野回復による農業生産性の向上

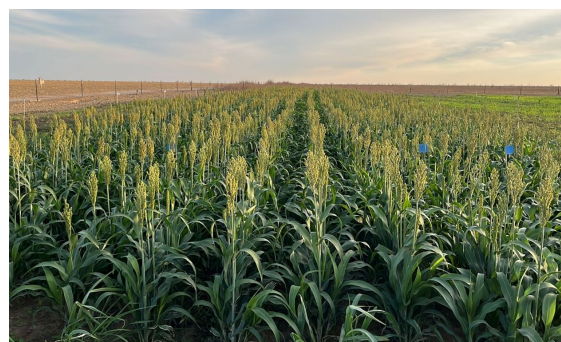
世界有数の農業大国であるブラジルでは、アマゾンでの違法伐採と広大な劣化牧野が課題となっている。ブラジル政府は持続的な食料増産を目指し、新たな森林伐採の抑制および劣化牧野の回復とその畑地転換を推進する政策を掲げている。

今年3月、日本の農林水産省、外務省と、ブラジルの農業・畜産省、農業開発・家族農業省は、「ブラジル劣化牧野回復モデル実証調査に関する意向表明書」(LOI)に署名した。これに基づき、農林水産省は今年4月から、日本企業、ブラジルの日系農協、日・ブラジル両政府と連携し、モデルファームでの実証調査を開始した。この調査では日本企業が開発したバイオスティミュラントや土壌改良材を活用しながら、森林伐採を行うことなく劣化土壌の回復を推進し、農業生産性の向上と持続可能性の確保を両立することを目指している。

本セミナーでは、この実証調査の結果報告、及び実証に利用している農業資材等の紹介を行う。また、ブラジル政府関係者、日本企業、農林水産省が、ブラジルでの持続可能な栽培体系や農業投入資材を含む回復モデルなど、農業・食料システムの発展について議論を行う。

1. 日 時: 2025年11月15日(土)23:45~25:00(日本時間)
2. 開 催: オンライン参加(以下QRコードより入室)
3. プログラム
 - (1)開会挨拶: 在ブラジル日本国大使館(ビデオメッセージ)
 - (2)挨拶:
 - 農林水産省
 - ブラジル農業・畜産省(MAPA)
 - ブラジル農業開発・家族農業省(MDA)
 - (3)課題解決に向けた日本企業の技術紹介:
 - ブラジル味の素、アサヒバイオサイクル
 - (4)実証事業の成果:
 - オリエンタルコンサルタンツグローバル(OCG)
 - (5)パネルディスカッション:
 - 農林水産省、MAPA、MDA、ブラジル味の素、アサヒバイオサイクル、OCG
 - (6)クロージング:環境省

[成果イメージ]



[協力パートナー]



お問合せ先

輸出・国際局 新興地域グループ
電話番号: 03-3502-7403



COP30
ジャパンパビリオンURL



視聴URL
(Zoom)